

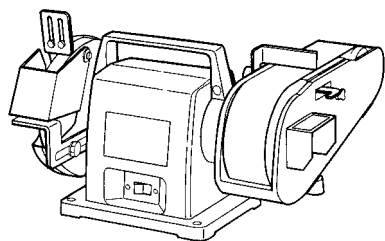
日立ベルトグラインダ

FGB 5SA

このたびは日立家庭用ベルトグラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



ベルト幅 50 mm

目次	ページ
電動工具の安全上のご注意	1～4
ベルトグラインダの使用上のご注意	5～7
各部の名称	8
● 付属品	
用途	9
ご使用前の準備	9～11
ご使用前の点検	12～15
使いかた	15～21
別売部品	22～24
点検・手入れについて	25
仕様	26
アフターサービスについて	26～

⚠警告、⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注： 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 警 告

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

…電動工具の安全上のご注意

警 告

- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご依頼してください。
 - 延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。

警 告

②① 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご依頼してください。
スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

②② 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

②③ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

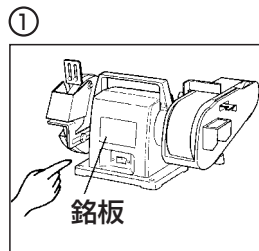
ベルトグラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ベルトグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に高速となり、けがの原因になります。



- ② 必ずアース（接地）してください。

故障や漏電などのとき、感電のおそれがあります。

- ③ スパークブレーカは、必ず取付けて使用してください。

スパークブレーカを取付けず使用しますと、トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

- ④ 使用するトイシは、トイシの最高使用周速度が銘板に表示してある周速度以上で、かつ正規寸法のものであることを確認してください。

正規寸法以外のトイシを使用しますと、トイシが破壊し、けがの原因になります。トイシ寸法は26ページの仕様欄を参照してください。

- ⑤ トイシは外周面で研削してください。トイシの側面では研削しないでください。

トイシの側面で研削しますと、トイシが破壊し、けがの原因になります。

- ⑥ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

トイシにヒビ、割れなどがあると、回転力によりトイシが破壊し、けがの原因になります。

- ⑦ 水、研削液などは使用しないでください。

本機は乾式用ですから、研削時、水、研削液などを使用しないでください。水、研削液などを使うと、トイシの破壊によるけがや感電のおそれがあります。

- ⑧ 保護おおい（ホイルガード、ガードカバー）やツールレストをはずして使用しないでください。

保護おおい、ツールレストなどが確実に取付けられていることを確認してください。



⚠ 警告

- ⑨ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

- ⑩ 研削粉は火花となって飛散するもので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損やヒビ、変形がないことをよく点検してください。

破損やヒビ、変形があると、けがの原因になります。

- ⑬ 作業中は必ず保護メガネをご使用ください。粉じんが出る場合はマスクもつけてください。

- ⑭ (事業者の方へ)

- (1) トイシの交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

トイシの交換・試運転を行う人には、法令で定められた特別教育を行わなければなりません。

〔	関連法令	労働安全衛生法	第59条
		労働安全衛生規則	第36条
		安全衛生特別教育規程	第2条

- (2) 粉じんを発生する作業に関しては換気の実施、排気装置、除じん装置、呼吸用保護具等の使用が定められた「粉じん障害防止規則」があります。この規則に従って正しくご使用ください。

…ベルトグラインダの使用上のご注意

注 意

- ① トイシや研磨ベルト、付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。

- ② 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。

トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

- ③ 試運転を励行してください。

試運転の時間は、

トイシ交換のとき…………… 3分間以上

その日の作業を始めるとき…………… 1分間以上です。

試運転をせずに作業を開始すると思わぬけがの原因となります。

- ④ トイシ、研磨ベルトはいつも良い切れ味で使用してください。

研削できないトイシ、研磨ベルトはモーターに無理をかけ能率も悪くなります。トイシはまめにドレッシングし、研磨ベルトは新品と交換していつも良い切れ味で使用してください。

- ⑤ トイシ締付け部品の扱いをていねいにしてください。

トイシ軸、ホイールワッシャ、ナットなどトイシ締付け部品は傷をつけないようにご注意ください。トイシが破壊する原因になります。

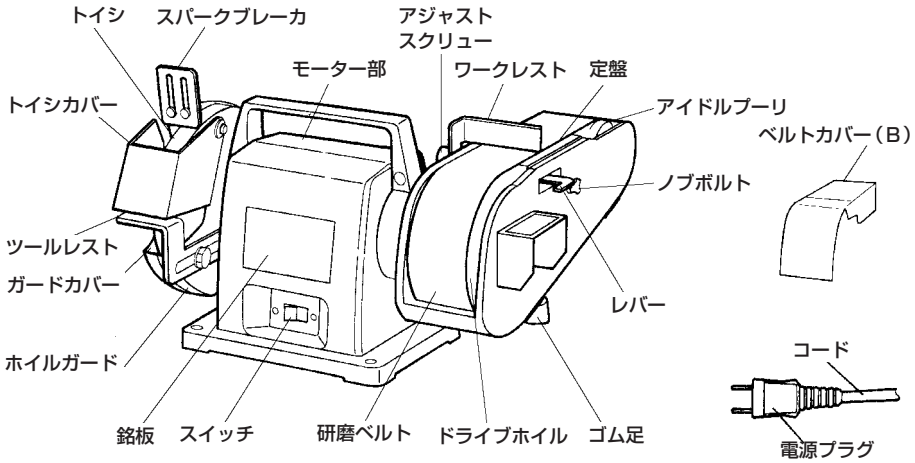
- ⑥ トイシの保管に注意してください。

研削液を使用しないトイシ(本機使用のものもその一種)は水分、湿気により強度を低下させます。保管には十分ご注意ください。

- ⑦ 本機使用中には、手袋の着用はさけてください。手袋をして作業しますと、回転部に巻き込まれるおそれがあります。

回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

各部の名称



付属品

<p>トイシ(粒度 60) 1個</p>  <p>(本体についています)</p>	<p>エンドレス研磨ベルト 1枚 (粒度 100)</p>  <p>(本体についています)</p>	<p>3mm六角棒スパナ 1本</p>  <p>(本体についています)</p>
--	---	---

用途

⚠ 警告

- 用途以外には、使用しないでください。特にアルミニウム鋳物、マグネシウム鋳物は、研削しないでください。

- 一般鋼材、鋳鉄、青銅などの小物研削。
- 非鉄金属、塗膜、木材などの小物研削。
- 木材、アルミ、レンガ、軽量ブロックの穴あけ。
(別売部品のシャフトボディー使用)
- 自動車のワックスかけ。(別売部品のシャフトボディー使用)

ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

● アース(接地)、漏電しゃ断器を確認します

⚠ 警告

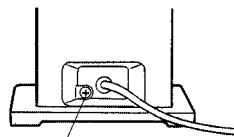
- アース(接地)線をガス管に取付けると爆発のおそれがありますので、絶対にしないでください。

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下漏電しゃ断器と言います。)が設置されているか、確認してください。

また、本機は必ずアース(接地)をおこなってください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアース(接地)されるようにおすすめします。

アース(接地)をする場合は、本体後部のアース(接地)ネジをご使用ください。

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アース(接地)線の先端と本体金属外枠との間の導通を確認してください。



アース(接地)ネジ

ご使用前の準備



地中にアース極（アース板、アース棒）を埋めアース（接地）線を接続するなどのアース工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。漏電しゃ断器やアース（接地）については、つぎの法規がありますので、参照してください。

労働安全衛生規則（第 333 条 漏電による感電の防止、第 334 条 適用除外）
電気設備の技術基準（第 18 条 設置工事の種類、第 28 条 機械器具の鉄台および外箱の接地、第 41 条 地絡しゃ断装置等の施設）

●作業台を用意します

警 告

- 別売部品のシャフトボディーを使用する場合は、必ず本体を作業台などに固定してください。ドリルで穴明けをしているとき、ドリルがロックし本体が回転する危険があります。

本ベルトグラインダは、卓上形ですので作業台を用意し、取付けて使用してください。作業しやすい場所を選び、10 mm ボルト 4 本でしっかりと作業台に固定してください。本体を取付ける前に、定盤の下にあるゴム足がすえ付け面に対し突張ったり、浮いたりしていないことを確認してください。高さが合わない場合には、まず定盤の六角穴付止めネジ（21 ページ「定盤を縦型にするとき」の項をご覧ください。）をゆるめ、次に本体を 10 mm ボルト 4 本で固定してください。最後にゴム足をすえ付け面の高さに合わせて六角穴付止めネジをしっかりと締めてください。

●延長（継ぎ）コードを用意します

警 告

- 延長（継ぎ）コードは、損傷のないものを用意してください。

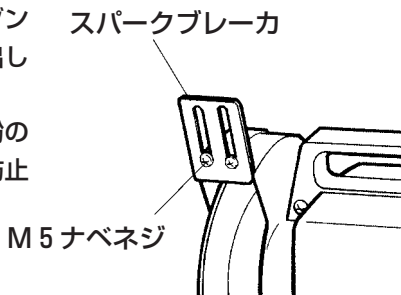
電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ mm ²	最大の長さ m
0.75	20
1.25	30
2	50

●スパークブレーカを取付けます

スパークブレーカは、本体より取りはずしてダンボール箱内に入れてありますから、これを取り出して、M5ナベネジで取付けてください。

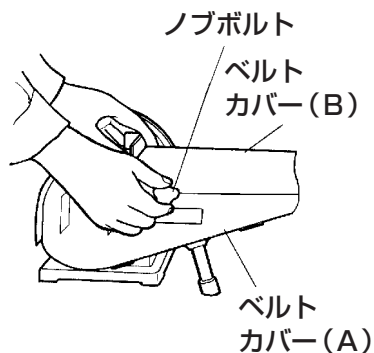
スパークブレーカは作業中、火花および研削粉の飛散を防ぐとともにトイシの破壊の際の災害防止にも役立つものです。



●ベルトカバー(B)を取付けます

ベルトカバー(B)は研磨ベルトによる作業をしないとき、不用意に手などがベルトに触れてけがをしないためのものです。

研磨ベルトを使用しないときは、必ず取付けてください。





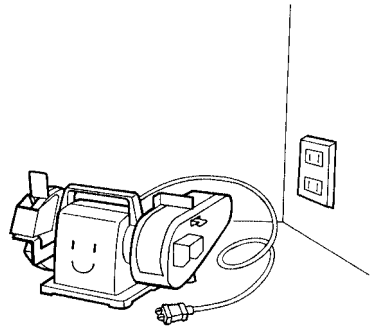
⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～9項について、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめます

スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

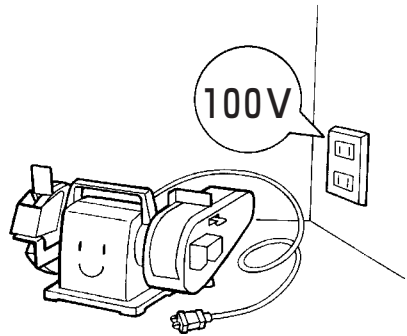
スイッチはON側に押すと入り、OFF側を押すと切れます。



2 電源を確かめます

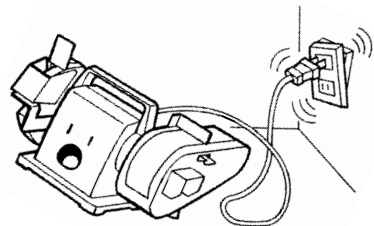
お求めのベルトグラインダは100V用です。200V電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、トイシや機体が破損するおそれがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品が故障するだけでなく、事故の原因になります。



3 コンセントを確かめます

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



4 トイシを確かめます

警 告

- トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

銘板に表示してある寸法以下のトイシを使用し、トイシにヒビ、割れがないことを確かめてください。

5 トイシの締付けを確かめます

警 告

- トイシ締付ナットがゆるんでいるとトイシ軸が回転したときトイシの破壊、事故の原因になります。

工場出荷時、十分締付けておりますが念のためトイシの締付ナットを確実に締付けてください。締付ナットの締付け方法は 15 ページの「トイシを交換します」の項をご覧ください。

6 研磨ベルトを確かめます

研磨ベルトに傷、しわ、破れ、穴がないことを確かめてください。また研磨ベルトの裏面の矢印がガードカバーに指示してある回転方向に合っていることを確かめてください。

7 保護おおいの締付けを確かめます

警 告

- 保護おおい(ガードカバー、ホイルガード)が確実に取付けてあることを確かめてください。

保護おおい(ガードカバー、ホイルガード)は万一口イシが割れた場合などに災害を防止するものです。工場出荷時、十分締めておりますが念のため取付けネジを確実に締付けてください。

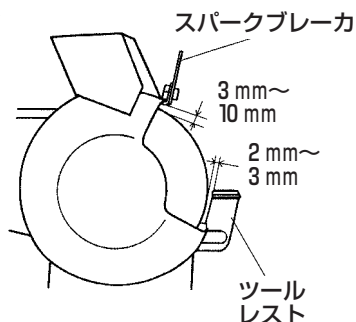
8 トイシは、最高使用周速度以上のものを使用してください

トイシを交換する場合、銘板に記載している最高使用周速度以上のトイシをご使用ください。

9 スパークブレーカ、ツールレストとトイシのすきまを確かめます

作業する前に、スパークブレーカとトイシのすきまを3～10 mm、ツールレストとトイシのすきまを2～3 mmに調整してご使用ください。

(トイシが減るにしたがって合わせてください。)



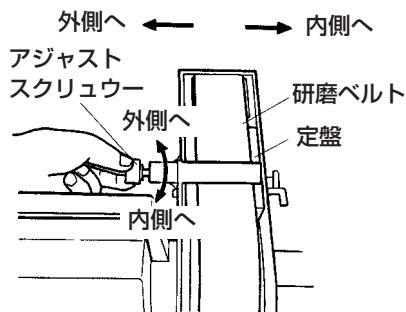
10 研磨ベルトの位置を調整します

⚠ 警告

- 研磨ベルトの位置調整をしないで回転を続けると、研磨ベルトが機体やカバーに食い込んで非常に危険ですので確実に調整してください。

スイッチを瞬時だけ入れ、少し回転させ、研磨ベルトが横に移動するかどうか調べてみてください。

もし移動するようでしたらアジャストスクリューを回して研磨ベルトが定盤中央に安定するよう調整してください。アジャストスクリューを内側(時計回り)へ回すと研磨ベルトが内側へ移動します。また、外側へ(反時計回り)回すと研磨ベルトが外側へ移動します。



作業中に研磨ベルトが定盤中央よりかたよったときには作業を一時中断し、調整したのち使用してください。

11 試運転を行なってください

トイシにヒビ、割れがあるのを気付かずに作業しますと非常に危険です。作業前には、正面位置から必ず一時身体を避けて試運転を行なって異常のないことを確認してください。

試運転の時間は

トイシ交換のとき 3分間以上

その日の作業を始めるとき 1分間以上です。

12 トイシの面振れを確かめます

トイシを回転させ面振れを点検してください。
面振れが大きいとトイシが割れる原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

使い方

トイシを交換します

警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

- 1 研削する材料や作業に合ったトイシを選びます。
製品には、下の表に示すように一般鋼材に適するトイシが取付けてあります。

● 付属トイシ仕様表

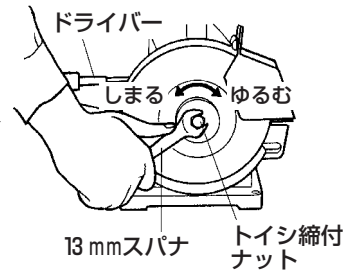
ト 粒	粒 度	結合度 (硬度)	組 織	結合剤	細 分 記 号	被研削物の材質
A	60	N	7	B	P09	軟鋼、鑄造鋼、硬鋼、焼入鋼、 青銅(硬質)にも適します。



- 被研削物の材質が鋳鉄、非鉄金属の場合は、各種のトイシが市販されておりますので次表を参考にトイシをお選びください。

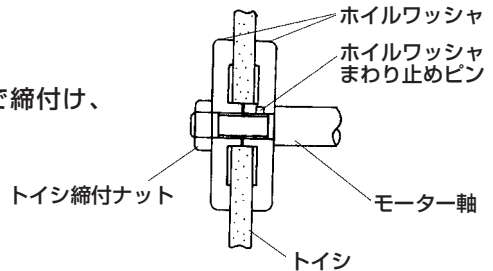
被研削物の材質	ト粒	粒度	結合度 (硬度)	組織	結合剤	備考
黄銅・青銅	C	24	P	7	B	錆バリ取り
鋳鉄	C	16	P	7	B	錆バリ取り
超硬質合金	GC	60	I	7	V	荒削り

- 2** ガードカバー(8ページ「各部の名称」の項をご覧ください。)を取りはずし、製品後部の穴にドライバーをさし込み、モーター軸が回転しないようにしてトイシ締付ナットを13mmスパナでゆるめます。



- 3** トイシを取りはずし交換します。

- 4** トイシ締付ナットを13mmスパナで締付け、トイシを固定します。



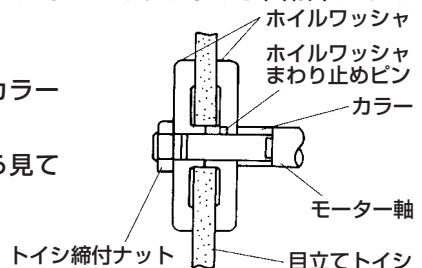
注 トイシを交換するときにホイルワッシャのまわり止めピンを紛失しないよう注意してください。

- トイシ締付けナットを締めすぎますとトイシが割れることがありますから注意してください。

ナットは回転により締まる方向のネジになっておりますから回転中にゆるむようなことはありません。

注 目立てトイシを取付ける場合は、カラーが必要です。別途お求めください。

- 目立てトイシは必ずスイッチ側から見て左側に取付けてください。



研磨ベルトを交換します

警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

1

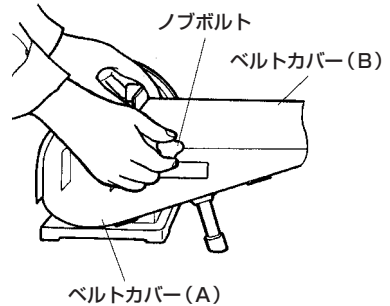
研削する材料や作業に合った研磨ベルトを選びます。

下の表は、一般的な研磨ベルト選定時の目安です。

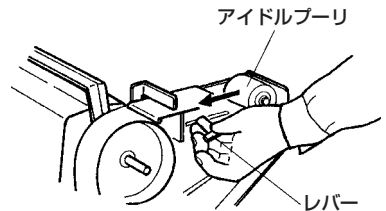
被 研 削 物 の 材 質		仕 上 げ 程 度	ト 粒	粒 度
鋼	普 通 炭 素 鋼	粗 仕 上 げ	AA	30 ~ 60
		中 仕 上 げ	AA	80 ~ 120
		上 仕 上 げ	AA	150 ~ 240
	合 金 鋼 ス テ ン レ ス 鋼	粗 仕 上 げ	AA	40 ~ 80
		中 仕 上 げ	AA	100 ~ 120
		上 仕 上 げ	AA	150 ~ 240
鑄 鉄	粗 仕 上 げ	AA	30 ~ 60	
	中 仕 上 げ	AA	60 ~ 120	
非鉄金属 銅およびその合金		粗 仕 上 げ	AA	30 ~ 60
木 材	一 般 木 材	粗 仕 上 げ	AA	36 ~ 60
		中 仕 上 げ	AA	80 ~ 180
	合 板	粗 仕 上 げ	AA	40 ~ 80
		中 仕 上 げ	AA	100 ~ 150
材	織 維 板	粗 仕 上 げ	AA	40 ~ 80
		中 仕 上 げ	AA	100 ~ 120
		上 仕 上 げ	AA	150 ~ 180
塗 膜	上 仕 上 げ	AA	240	
皮 革	上 仕 上 げ	AA	180 ~ 240	
ゴ ム	上 仕 上 げ	AA	150 ~ 240	



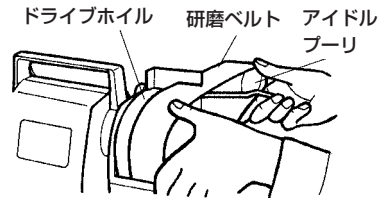
- 2** ノブボルトをゆるめ、ベルトカバー(A)、(B)を取りはずします。



- 3** 指でレバーをアイドルプーリ側に移動すると、アイドルプーリは矢印方向に移動し、研磨ベルトが掛けやすくなります。



- 4** 研磨ベルトは内側の矢印をドライブホイールの回転方向に合わせ、研磨ベルトをドライブホイールとアイドルプーリに掛けます。



- 注** ・ 矢印の方向を間違えると作業能率が下がったり、研磨ベルトの接合部がはがれることがあります。

- 5** レバーを元に戻しますと、研磨ベルトは適当な張りになり、作業できる状態になります。

この場合、急にレバーを戻すと、レバーが指を叩くことがありますのでレバーをしっかり持ってゆっくり元に戻してください。

- 注** ・ 研磨ベルトの交換が終わりましたら、必ず研磨ベルトの位置を確認してください。

研磨ベルトの位置が、かたよっている時は、位置を調整してください。位置調整の方法は、14ページ「研磨ベルトの位置を調整します」の項をご覧ください。

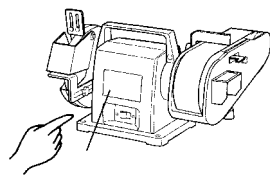
スイッチを入れます

⚠ 警告

- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

スイッチのON側を押すと、トイシと研磨ベルトが回転します。

スイッチを切るときは、OFF側を押してください。



スイッチ

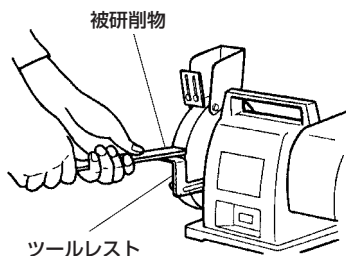
トイシで研削します

⚠ 警告

- 平形トイシは側面からの衝撃に弱いので側面は絶対に使用しないでください。
- 作業が終わりましたら必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

被研削物はツールレストにのせて作業してください。

また被研削物を片手で持ったり、よそ見しながらの作業は危険です。



ツールレスト

- 注**
- 目つぶれ、または目づまりしたトイシをそのまま使用になりますと加工面が悪くなるばかりでなく、能率が低下しますから、ときどきドレッサーでトイシのドレッシングをして、外周を真円にしてから作業してください。

別売部品のダイヤモンドドレッサーを使用すると便利です。



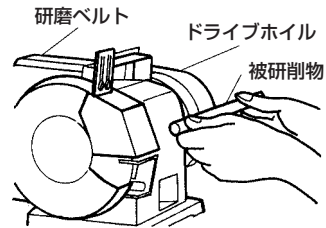
研磨ベルトで研削します

⚠ 警告

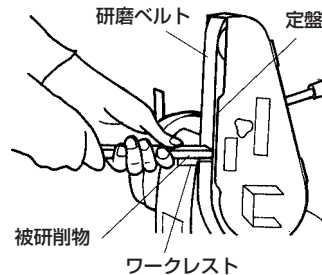
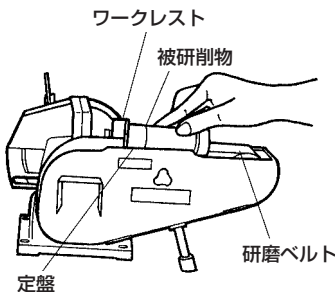
- 研磨ベルトによる作業の場合は、被研削物をしっかり持ってベルトにまき込まれないようにしてください。
- ワークレストは被研削物のはね上りを防ぐと共に、研磨ベルトが切れた場合の災害防止に役立ちますから、必ず取付けておいてください。
- 作業が終わりましたら必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

● ドライブホイール部で研削をするとき

ドライブホイール部分での作業は、特に被研削物をしっかり持って、ベルトにまき込まれないようにしてください。



● 定盤部で研削をするとき



被研削物をワークレストに突当て、研磨ベルトに押し付けます。

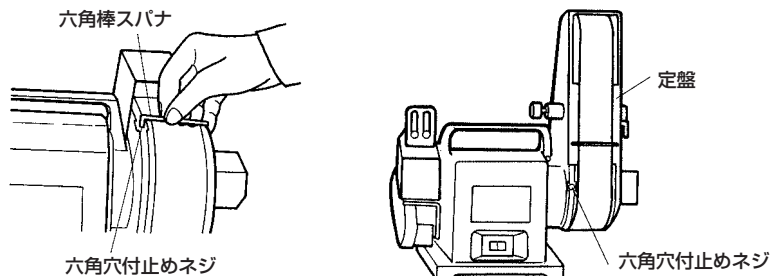
また、定盤は立てて使用することもできますので、この場合はワークレストに被研削物を乗せて、研磨ベルトに軽く押し付けて作業してください。

定盤を立てる方法は21ページの「定盤を縦形にするとき」の項をご覧ください。

● 定盤を縦形にするとき

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。
- 定盤を固定する六角穴付止めネジの締付けが不十分だと、定盤が急に倒れる場合があります、けがの原因になります。必ず確実に締付けてください。



六角穴付止めネジを付属の六角棒スパナでゆるめ、定盤を立ててください。
定盤が垂直になると、ストップに当たりますので、この位置で六角穴付止めネジをしっかり締付けてください。



日立電動工具販売店でお求めください。(別売部品は生産を打ち切ることがあります。)

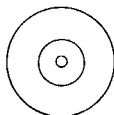
① エンドレス研磨ベルト (幅 50 mm×周長 710 mm) (5 枚入)



ト粒の種類：AA

粒度	コード番号	粒度	コード番号
40	306073	120	306077
60	306074	150	306078
80	306075	180	306079
100	306076	240	306080

② 目立てトイシ (コード番号 952610)

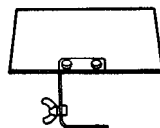


③ カラー (コード番号 952611)



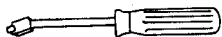
目立てトイシを使用する場合、必要です。

④ アイシールド (コード番号 9316 - 9107)



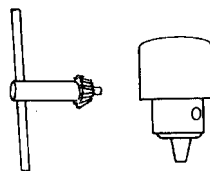
作業中の目を保護するものです。

⑤ ダイヤモンドドレッサー (コード番号 952442)



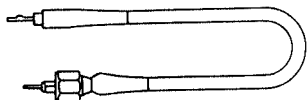
トイシのドレッシングに使用してください。

⑥ ドリルチャック (6.5 TLR) (コード番号 950282)



シャフトボディの取付けに必要です。

⑦ シャフトボディ (コード番号 939923)



作業位置が自由に変えられる取付け具です。回転用シャフトヘッド(A)、(B)および振動用シャフトヘッドを取付けてご利用ください。

○シャフト長さ 1m

⑧ 回転用シャフトヘッド(A)

(コード番号 939924)

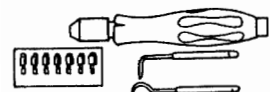


各種材料の研磨、穴明け、バリ取り等にご利用ください。

- 6.5 mmドリルチャック、手元スイッチ、クラッチ (安全装置) 付

⑨ 回転用シャフトヘッド(B)

(コード番号 939925)

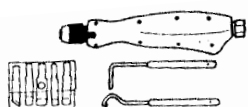


各種材料の研磨、穴明け、バリ取り等にご利用ください。

- コレットチャック、Lピン、カギピン付

⑩ 振動用シャフトヘッド

(コード番号 939926)



木彫り、版画、彫金等にご利用ください。

- 彫刻刃、Lピン、カギピン付

⑪ サンディングディスクセット (DL-205)

(コード番号 300016)



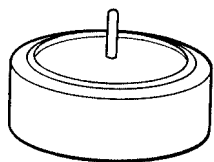
ジクスペーパー ラバーパッド

アーバーセット

各種木材、金属などの研削、木材の仕上げ、塗装おとし、錆おとしに便利です。

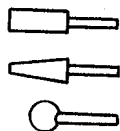
- ジクスペーパー 外径 130 mm
- 粒度 50、80、120

⑫ ポリッシングスポンジ (DL - 261)
(コード番号 300017)



金属、プラスチック、木材、ガラス製品のよごれ落とし、自動車のワックスかけに使用できます。

⑬ 回転ヤスリ



各種木材、樹脂の面取り、削り、仕上げに使用できます。

- 円柱形 (コード番号 939530)
- 円スライ形 (コード番号 939531)
- 球形 (コード番号 939532)

● 別売部品の接続方法

- (1) 本体のドライブホイール側シャフトに別売部品⑥ドリルチャックを取付けます。
- (2) ドリルチャックに別売部品⑦シャフトボディーを取付けます。
- (3) シャフトボディーの先端に別売部品⑧～⑩回転用シャフトヘッド(A)、(B)および振動用シャフトヘッドを取付けます。
- (4) 別売部品⑪サンディングディスクセット、⑫ポリッシングスポンジおよび⑬回転ヤスリは、回転用シャフトヘッド(A)、(B)に取付けて使用します。

点検、手入れについて

警 告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

● トイシの点検

トイシの外径がトイシラベルまで摩耗したら、新品と交換してください。

● 取付けねじの点検

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。ゆるんだままお使いになりますと危険です。

● モーター部の取扱い

モーター部は本機の心臓部です。掃除、点検、手入れなどの際、水や油でぬらさないようにしてください。

● 本体はきれいに

切削粉がグラインダ内に侵入しますと、各部分の寿命を著しく縮めますのでグラインダは常に清潔にし、研削粉を取り除いておいてください。

■ 保管場所について 次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。
- 直射日光の当たる所。

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz共用 電圧100 V
入 力	210 W
全負荷電流 (参考)	3.2 / 2.3 A 50 / 60 Hz
研 磨 ベ ル ト 寸 法	幅 50 × 周長 710 mm
研 磨 ベ ル ト 速 度	19 / 23 / m / s { 1150 / 1380 m / min } 50 / 60 Hz
ド ラ イ ブ ホ イ ル	外径 122 mm 幅 54 mm
ト イ シ 寸 法	外径 150 × 厚さ 16 × 穴径 12.7 mm
ト イ シ 種 類	レジノイド A 60 N7BP09 (平形)
トイシ最高使用周速度	50 m / s { 3000 m / min }
無負荷トイシ周速度	23 / 28 / m / s { 1413 / 1696 m / min } 50 / 60 Hz
モ ー タ ー	コンデンサラン単相誘導電動機
機 体 の 大 き さ	幅 367 × 奥行 356 × 高さ 204 mm
す え 付 け 寸 法	幅 166 × 奥行 138 mm 穴径 11 mm
コ ー ド	モールドプラグ付 2 心ビニールコード 2 m
質 量	9.5 kg

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

- ベルトグラインダの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらずお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご用命ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店か、または日立工機(株)のご相談窓口にお問い合わせください。

…アフターサービスについて

ベルトグライндаご相談窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

ベルトグライндаについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談窓口、または、修理窓口にご相談ください。なお、相談窓口や修理窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談や販売店のご紹介、総合的なご相談は……………〔相談窓口〕へ
修理についてのお問い合わせなどのご相談事項は……………〔修理窓口〕へ

窓 口 区 分	所 在 地	支店(本部)名	電 話 番 号
全 国			
相 談		港 区	第一営業部
修 理	港 区	本社サービス技術部	(03) 5783 - 0626 (03) 5783 - 0690
北 海 道			
相 談	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
修 理	札 幌 市	北海道サービス技術センター	(011) 251 - 5831
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島			
相 談	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
修 理	仙 台 市	東北サービス技術センター	(022) 288 - 8681
埼玉、東京、千葉、神奈川、静岡県富士川以東、茨城、栃木、群馬、山梨、新潟、長野			
相 談	港 区	東 京	(03) 5783 - 0629
修 理	大 田 区	東京サービス技術センター	(03) 5753 - 7709
岐阜、愛知、静岡県富士川以西、三重			
相 談	名古屋	中 部	(052) 262 - 3811
修 理	海部郡大治町	中部サービス技術センター	(052) 443 - 0891
富山、石川、福井			
相 談	金 沢 市	北 陸	(0762) 63 - 4311
修 理	金 沢 市	北陸サービス技術センター	(0762) 69 - 1147
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山			
相 談	大 阪 市	関 西	(06) 6231 - 6578
修 理	茨 木 市	関西サービス技術センター	(0726) 26 - 1301
鳥取、島根、広島、岡山、山口			
相 談	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
修 理	安芸郡府中町	中国サービス技術センター	(082) 285 - 3281
徳島、香川、愛媛、高知			
相 談	高 松 市	四 国	(087) 834 - 6111
修 理	高 松 市	四国サービス技術センター	(087) 844 - 1851
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄			
相 談	福 岡 市	九 州	(092) 844 - 7638
修 理	福 岡 市	九州サービス技術センター	(092) 621 - 5738

× ㄷ


× ㄷ

× ㄷ



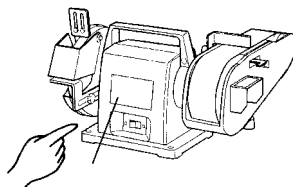
ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

「電動工具お客様相談センター」

 0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)
(土・日・祝日を除く 午前8:50～午後5:20)

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき便利です。



銘板

(製造番号が表示
されています。)

お買い上げ日	年	月	日
販売店	電話番号		
製造番号 (No.)			

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2-15-1 (品川インターシティA棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)

101

部品コード H993218 - 03H